

匂いセンサー『FlavoTone®』における4タイプの標準ラインアップ確立

—用途・環境に応じた最適提案体制を強化—

三洋化成工業株式会社
 (証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、代表取締役社長:樋口章憲)は、匂いセンサー『FlavoTone®』において、ケミレジスター型とQCM(水晶振動子マイクロバランス)型の2方式による4タイプの標準ラインアップを体系化しました。これにより、用途や設置環境に応じた最適なソリューションを迅速にご提案する“センシングプラットフォーム”として、さらなる社会実装を推進してまいります。

近年、食品・インフラ・ヘルスケア・環境など多様な分野で匂いセンシング技術への期待が高まっています。当社は、匂いセンサー『FlavoTone®』として、複雑で多様な匂いを可視化できるケミレジスター型センサーを中心に、品質管理やモニタリング用途への展開を進めてきました。さらに、株式会社アロマビットの技術を基盤とするQCM型センサーをラインアップに加えることで、短時間の匂い変化の追跡や組み込み用途など、より幅広いニーズへの対応が可能となっています。

こうした用途の広がりや蓄積したデータ・知見を踏まえ、当社は各型の位置づけを整理し、ケミレジスター型(卓上型・小型常時運転型)とQCM型(ポータブル型・組み込み型)の4タイプとして体系化しました。タイプごとに標準仕様のセンサーを設定し、現場での展開・検証を進めています。これにより、“センシングプラットフォーム”として、用途や設置環境に応じた最適なソリューションを迅速にご提案しています。



ケミレジスター型センサーを活用した Type G は、主に卓上分析用途として品質評価や特性比較などの分析現場で活用が進んでおり、例えばフジッコ株式会社の食品製造工程における品質管理用途の補助機器として採用されています^{*1}。また、Type A は設備や施設への常設モニタリング用途として、株式会社 JR 東日本環境アクセスの駅トイレ臭気モニタリング PoC(実証実験)において検証が進められています^{*2}。

QCM 型センサーについては、Type Q が顧客システムへの組み込み用途として、企業や大学・研究機関への販売実績があり、株式会社アイシンで開発中の皮膚ガスセンシング用途にも採用されています^{*3}。

これら以外にも、各タイプとも多様な現場での検証や導入が進んでおり、PoC や導入検証フェーズへと移行している事例も増えています。なお、ポータブル用途の Type H についても、来年度中の製品化を目指して開発中です。

当社は今後も、用途に応じたタイプ別の匂いセンサー提案を通じて、食品、化学、アグリ、環境、生体分野など幅広い領域での匂いセンシング技術の社会実装を推進し、匂いの可視化による新たな価値創出を目指します。また、今後は実際の活用事例や技術情報についても、当社ウェブサイト等で順次ご紹介していく予定です。これにより、用途拡大や社会実装の加速に貢献してまいります。

【『FlavoTone®』について】

『FlavoTone®』は、人間の鼻と同じように、複雑な匂いを識別できるセンサーです。品質管理、特性比較、モニタリングなど、幅広い用途にご使用いただけます。センサーの販売に加え、レンタルや受託分析も提供しています。

参考

- ※1 フジッコ株式会社に匂いセンサー『FlavoTone®』が採用決定
<https://www.sanyo-chemical.co.jp/archives/14803>
- ※2 匂いセンサーを活用したトイレ清掃の実証実験を開始
<https://www.sanyo-chemical.co.jp/archives/15311>
- ※3 株式会社アイシンが開発した皮膚ガスに関する生体センシング技術
<https://www.aisin.com/jp/news/2024/006253.html>

【FlavoTone® 製品・事例紹介サイト】

<https://kaori.sanyo-chemical.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 コーポレート・ガバナンス部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>